

第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会を終えて

第 55 回日本動脈硬化学会総会・学術集会は「地域医療における動脈硬化」をテーマに、2023 年 7 月 8～9 日に栃木県宇都宮市のライトキューブ宇都宮において現地開催され、現地で収録された教育講演やシンポジウム等をオンデマンド配信として 8 月 31 日まで WEB 開催特設サイトに公開いたしました。

2019 年に勃発した新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に再指定されたのをうけて、従来よりも緩和した感染対策形式で現地開催されました。1,180 人の方々にご参加いただき、オンデマンド配信は視聴人数 385 人、視聴回数 2,935 回に達し、盛会裏に終えることができましたのも皆様のご助力とご支援の賜と、改めて深謝申し上げます。

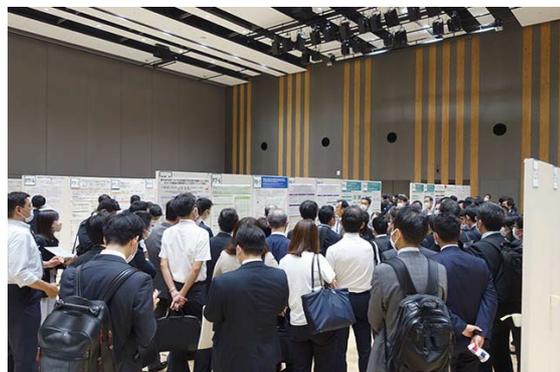
学術評議員を対象としたアンケート調査を事前に実施し、プログラム委員会での選択・調整を経て、プログラムを立案しました。永井良三博士による特別公演「医学研究における地域医療」、特別企画シンポジウム「スタチン発見 50 年」では University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas の Michael S. Brown 博士から”Michael Brown and Joe Goldstein: A 50-year partnership”, The 8th Shimamoto Takio Memorial Lectures では University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas の Jonathan C. Cohen 博士に”Ancient genes and Modern Mutations”、New York University Grossman School of Medicine の Ira J. Goldberg 博士に”Postprandial lipemia, chylomicrons, and atherosclerosis”のご講演をいただきました。その他、19 のシンポジウム、2 つの明日へのシンポジウム、



大会長挨拶



第一会場



ポスター会場

5つの合同シンポジウム、ダイバシティー委員会企画、第30回診断技術向上セミナー、循環器病予防療養指導士セミナー、研究倫理に関する特別講演、若手育成企画、メディカルスタッフセッション・カンファランス、KSoLA-JAS Joint Symposium, APSAVD-IAS-JAS Joint Symposium 以外に128題の一般演題をポスター発表いただきました。市民公開講座は「動脈硬化予防：早めの治療で健康長寿！」をテーマにオンデマンド配信されました。

各種受賞については、第40回大島賞は順天堂大学の代田浩之博士、第24回日本動脈硬化学会賞は山梨大学の範江林博士、第18回五島雄一郎賞は筑波大学の関谷元博博士、第31回若手研究者奨励賞は、東京大学の安達裕助先生が最優秀賞、神戸大学の齋藤克寛先生と杏林大学の船橋沙耶華先生が奨励賞、第1回メディカルスタッフ賞は大阪大学の野口緑先生、りんくう総合医療センターの花田浩之先生、日本女子大学の亀山詞子先生、第1回若手優秀演題賞は、大阪公立大学の犬塚憲一郎先生、神戸大学の江本拓央先生、東京大学医学部附属病院の山梨義英先生、National Yang Ming Chiao Tung University の TingTing Chang 先生、自治医科大学の唐澤直義先生が受賞されました。

本会の開催にあたりまして、ご尽力いただいた日本動脈硬化学会事務局の皆様、関連委員会の皆様、協賛企業と支援団体の皆様、そしてご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

第55回日本動脈硬化学会総会・学術集会会長
石橋 俊



会員懇親会で演奏していただいた自治医科大学 Route4 Jazz Orchestra の皆さんと



Cohen 博士ご夫妻、Goldberg 博士と